

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	津軽森林管理署金木支署	連絡先	050-3160-5875
所管する業務の概要	国有林野事業の管理経営		

1. 基本的な心構え・行動	
・ 現在行っている取組や工夫	・ 点検によって得られた課題とその改善策
(業務における心構え) 「接遇マニュアル」を参考に挨拶の徹底、相手を不快にする対応の排除を図っている。	接遇のレベルアップのため、機会あるごとに職員に対し接遇マニュアルの周知徹底を図る。課・係間の連携が不十分であることから、ミーティングで事案ごとの情報の共有と連携を図る。
(農林水産事業の振興と消費者利益の関係) ・ 常に環境保全対策、コストを考えた事業計画と工種等を検討し実行に生かしている。 ・ 私たちの政策や事業をホームページ等に公開している。	・ 河川汚濁等の事案発生時には速やかに原因分析を行い今後の対策を講ずる。 ・ イベント等を通じ広く広報活動に努める。
(国民の意見、要請、苦情に対する姿勢) 国民からの苦情等に対し、接遇マニュアルを基に理解の得やすい説明対応に努めている。ホームページにコーナーを設け広く意見等を求めている。	解りやすく、笑顔での対応を心がける。
(国民への情報提供姿勢) 国民への情報提供「5つの基本」を基に公表できるものは公表し、公表できないものは十分な説明をし、誰でも解るような対応に努めている。	非公表について、理解を得られない場合があるので、誠意をもって説明し親切に対応する。

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
<p>(政策のニーズ等の把握に向けた取組) 情報提供のマニュアル等を活用し、イベント等で対話を心がけ、国民の意見を聞いている。また、聞くときは複数人で対応し誤解や間違いがないようにし、上部に情報提供しながら早期に対応している。</p>	<p>対応するときは、必ずメモをとる。また、情報を共有することから会議等で周知を図る。</p>
<p>(関係部署との連携強化のための取組) イベント等は臨時職員を含む全職員の協力を得ながら、企画から実行まで行っている。また、事前に関係部署の職員を集め、打ち合わせを行い、終了後も情報伝達を行っている。</p>	<p>関係者から情報を十分に得て、早い段階で余裕を持った計画等を作成する。</p>
<p>(国民への政策等の説明方法) ホームページ等に事業量等を掲載し、誰でも見られるようにしている。また、説明するときは複数で図面等を用いて、誤解のないよう解り易く説明している。</p>	<p>説明が一方的になりがちなので、要点を整理し、図面、写真、表を多用し、わかりやすい説明に努める。</p>

3. リスク管理	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
<p>(リスク管理の手順・ルール) 問題が発生した場合は、速やかに過去の事例を参考に関係部署と協議するとともに、上局に報告をし、确实・迅速に対策を講じ、事案処理を行っている。</p>	<p>上局等からの指導を受け速やかに処理を行い、実行した対策の検証、もう一度見直す等のチェック体制を強化する。</p>
<p>(過去の失敗や教訓の活用) ヒヤリ・ハット事例、過去の事例を生かし、自分の業務に置き換え、見直し改善を行い、必要な対応を協議している。</p>	<p>自分に直接関係ない場合でも、署全体の問題として取り組む。</p>

4. 食の安全に関する取組	
<p>・ 現在行っている取組や工夫</p> <p>(農林水産省職員としての食の安全への意識) 会議等で「食の安全」について周知し、適正な森林の管理は食品の安全に結びついているという強い意識を持って業務を遂行している。</p>	<p>・ 点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>主に国有林野事業職員（林野庁職員）という意識が強いことから、今後は農林水産省職員の一員であるという意識と自覚を持って業務に取り組む。</p>

5. その他の重要な取組	
<p>・ 現在行っている取組や工夫</p> <p>(円滑な組織運営の実現に関する取組) 「笑顔の絶えない明るい職場づくり」を全職員が意識して業務を遂行している。 また、出署日等は全職員の参加を基本とし、新しい情報や業務の問題点、疑問点など誰からも自由に意見が言えるようにしている。</p>	<p>・ 点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>更なる明るい職場づくりのため、今後工夫が必要である。</p>